

ハマヒルガオ（ヒルガオ科）

～初夏の砂丘の花～

5月の終わりから6月に入ると唐津市から玄界灘の海岸には、アサガオやヒルガオに似た薄い紅紫色の花を付けたハマヒルガオが満開である。広々とした砂浜一面に光沢のある濃緑色の葉と紅紫色の花のコントラストとの光景は素晴らしいものである。初夏の砂浜を彩る風物詩で、年に一度は訪ねてみたい花である。

日本全土からアジア、ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカ太平洋沿岸と太平洋諸島に広く分布する海洋型の海岸植物である。唐津周辺では、唐津市から東松浦郡を通り伊万里市までの海岸に分布している。

また、神集島、松島、加部島、小川島、加唐島、馬渡島、向島などの島々でも見ることができる。

唐津市では虹の松原国民宿舎裏の東の浜、舞鶴公園下から旧大成小学校裏までの西の浜海岸が、見学適地で、開花時期に訪れえると、大群落を観察することができる。初夏の照りつける太陽のもとに咲き誇った花も、7月には終わりを告げる。秋に砂浜を訪れると、ハマヒルガオの周りには黒く熟した種子が散乱している。

この種子が玄界灘の荒波に乗って、あちらこちらに流れ着いて芽を出し、また、多くの子孫を増やすのである。

分野 自然

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など



(川浪誠氏より)

◎引用・参考文献（出典）

- ◆ 『伊豆須崎・海岸草木列伝』 近田文弘
- ◆ 『佐賀県の自然と植物』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467